

2

アクションリサーチの理論と実践

ー令和の新しい学びを実現する授業実践と評価ー

令和の日本型学校教育の実現のために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが求められています。求められている学びを実現するためにはどのような授業づくりをすれば良いのでしょうか。また、そうした授業実践の効果を評価し、授業改善につなげようとする時、どのような指標を用い、どう評価すればいいのでしょうか。本講座ではこのような新しい時代の学びの実践力に関する先行実践や研究をもとに解説します。

会 場	対 面： ひろしまサテライトキャンパス（広島県民文化センター5階） 504中講義室（11/15のみ505中講義室） オンライン： －
時 間	14：00～16：00
定 員	対 面： 50 名 オンライン： － 名
対 象	小・中学校教員，教育行政職員 等
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/20（月）

令和の新しい学びの授業実践力評価とは

講 師： 人間社会科学研究科 教授 中島 健一郎・講師 山崎 茜

第1回

11/8（土）

14：00～16：00

令和の日本型学校教育の中で重視される学びとはどのようなものか、そしてそれらを実現する授業実践の評価指標や、データに基づき授業を計画・評価するためにはどのようにすれば良いのかを解説します。

令和の新しい学びを実現する授業づくり（国語編）

講 師： 人間社会科学研究科 専任教員（調整中）

第2回

11/15（土）

14：00～16：00

子どもが自ら問いをもち読みを深める授業づくりと、その評価の視点について考えます。実践事例や教材を使ったワークショップを通して、授業改善の手がかりを共有します。

令和の新しい学びを実現する授業づくり（英語編）

講師：人間社会科学研究科 准教授 又野 陽子

第3回

12/20 (土)

14:00~16:00

テンポよくリズムカルに子ども達の言語活動を導いていく英語の授業の流れと指導技術をワークショップ形式でお伝えします。

令和の新しい学びを実現する授業づくり（理科編）

講師：人間社会科学研究科 教授 木下 博義・准教授 雲財 寛

第4回

1/31 (土)

14:00~16:00

理科の授業をどのように作り、どのように効果を検証すればよいでしょうか。本講義では、理科授業における「評価」に焦点を当てて、理科の授業づくりと授業改善につながる評価の方法について解説します。

データを活用して授業実践を振り返る： evidence-based educationのはじめ方

講師：人間社会科学研究科 教授 中島 健一郎

第5回

2/14 (土)

14:00~16:00

授業実践の効果があつたと判断するためには、どのような根拠を持っておくときよいのでしょうか。校内で「研究」に取り組む際にも役立つ「データ」の考え方と分析の手法について解説します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

人間社会科学研究科 教職開発専攻 担当 山崎 茜

電話： 082-424-4261

メール： akaney@hiroshima-u.ac.jp